

【議事録】始良市地域ケア個別会議（令和3年6月2事例目）

1. 開催日時

令和3年6月17日（木）19時00分～19時30分

2. 事例対象者

年齢	性別	要支援要介護度
72才	男性	要支援2

3. 生活行為に関する課題

【課題】

過去にも、左足付け根の痛み・震え、麻痺側の上下肢の原因不明の痛みなど、身体に不調を感じると必要以上に心配し、それが気持ちの落ち込みとなり生活やリハビリへの意欲低下に繋がってしまう。家族や支援スタッフがどれだけ声を掛けても気持ちが上向くまで時間を要する状況。今後、加齢とともに回復が遅くなれば更なる意欲低下から身体機能の低下を悲観し、生活や運動機能も低下するという悪循環を招いてしまわないか懸念がある。

【個人因子】

リハビリへの意欲は高くPTとの個別リハビリ(訪問リハビリ)や自主訓練は取り組んでいるが、ちょっとしたことがきっかけとなり精神的な落ち込みがひどく運動をやめてしまう。今回は肋骨骨折がきっかけとなったが、身体の各部位の痛みや起き上がり時のめまい、尻もちをつく等、他社から見るとささいなことがきっかけとなり意欲低下に繋がっている。

【環境因子】

妻と2人暮らし。自宅はほぼバリアフリーであるが、玄関に段差がある。

4. 助言

【医師】

岩元CMより、本人の慢性的な痛みの原因について、転倒やひねったということ以外の原因が考えられるのかを主治医へ質問、受診時には痛みの訴えがないこともあり精神的なものからくるのか特定できないとの返答であった。気になるようであれば、神経内科の受診をすすめてみてはどうか。

【薬剤師】

通常、痛み止め(ポンタール)を処方されているが、残があったとのことで今回は処方なしであった。痛みの程度がどれ位なのか疑問が残るが、数年前にセレコキシブで湿疹が出ていることもあり、あまり痛み止めは使用したくないのか？ということも考えられる。

【理学療法士】

梗塞の状態は分からないが、麻痺自体は重くなさそうに感じられる。痛みの部位があちこちにあるため、痛みの原因が判ったほうがいいのかなと思う。現在、使用している装具が合っているのか確認をしてもらえたらと思う。また、本人の楽しみや目標を一緒に探してあげることも大事なことはないかと思う。

【作業療法士】

ベッド横の手すりを使用しているが、痛みを助長させている可能性もあるため、起き上がりと立ち上がりの状況・引っぱり動作になっていないかの確認をしてほしい。正しい立ち方や姿勢が痛みの緩和に繋がることもある。電動カーの利用に関心があれば、利用にむけて移乗動作訓練などを行うとモチベーションが上がるきっかけになるのではないかと思う。

【言語聴覚士】

むせこみや飲み込みにくさは左半身不全麻痺からくるものであると思われるが、水分摂取時も同様であれば、意識をすることで改善することがあるため『今から飲み込む』ということ意識して行ってほしい。現在の状態としては心配要らないと思うが、口腔運動をすることで今後の口腔機能低下防止に繋がれると思う。

【管理栄養士】

水分をこまめに摂るようにと記録があるが、むせ込みもあるため水分摂取量が減っている可能性も考えられる。起床時・リハビリ前後・入浴後など、水分摂取のタイミングを決め、その時間に摂取するようにしてはどうか。

【歯科衛生士】

麻痺側の方に食物残渣が多くみられる傾向にある。口腔内が不衛生となり誤嚥性肺炎のリスクが高まるため、ブラッシングやブクブクうがいをし、口腔内を清潔に保つことを心掛けてほしい。

【生活支援コーディネーター】

ご本人の自治会は、いきいきサロンはないが老人会は充実しているようであり、スポーツ広場にて週5回グランドゴルフをしている。幅広い年齢層を対象としたイベントを開催しており、今後は、地域内にある企業の外国人の人との交流もすすめていきたいと民生委員からの情報あり。また、加治木には廃材を使った積み木作りをしている事業所が2箇所あり、このような事業所を利用することが大工をしていた本人のモチベーションを上げるきっかけになるのではないか。

【主任介護支援専門員】

脳梗塞の発症が第二の人生の始まりの時期と重なっているとのことであるが、人生のタイムラインを下ってアセスメントしていくと、自信回復への糸口が見つかるかもしれないと思う。また、障害受容について、ご本人は受容段階のどの段階にあるのかを念頭に入れながらアセスメントをすすめてみてはどうか。

5. 事例提供者の気づき、感想等

【介護支援専門員】

様々な意見をもらうことができ、深掘りするきっかけになった。電動カー使用についてアイデアがなかったので、今後の検討事項としたい。また、障害受容については、ご本人を傷付けてしまうのではないかと躊躇ってしまっていたが、今後、聞いていけたらと思う。

【通所リハビリ】

身体の痛みやご本人が好きな事について確認し、自立支援に向けて関わっていききたい。

【福祉用具】

玄関に段差があるため、外出しやすいように手すり設置をしていただけたらという思いがある。電動カー利用に向けてリハビリを頑張っていたきたい。

6. 地域課題

リタイア後の男性の地域での居場所の在り方について。